

イマキク！による自由記述の質問への回答とアンケート結果

第20回図書館総合展へご来場いただき、ありがとうございました。本フォーラムでいただきましたご質問につきまして、以下の通り回答いたします。

○自由記述への質問への回答

【質問1】

直営図書館の多くは、予算つかないから無理、という前提で資金(予算)確保のための取り組みがおろそかになっていると思う。それが衰退の一因ではないかと。事例発表のお3方は、自治体直営ではないが、直営館でも実践できる多くのヒントがあったと思うので、ぜひ参考にしたい。

【答え1】

館種にかかわらず、予算は削減される一方です。今回のフォーラムが資金獲得のための参考になれば幸いです(赤山)

【質問2】

はじめのうちは仕方ないけれども、ゆくゆくは大学あるいは大学の連合で、大学専門のクラウドファンディングプラットフォームを構築したいですね。

【答え2】

面白いアイデアだと思います。おつくる <https://otsucle.jp/cf/> が似たようなサービスを提供しています(赤山)

【質問3】

大学基金とクラウドファンディングの違いは何でしょうか。基金でなくクラウドファンディングを選択した理由を教えてください

【答え3】

大学基金との大きな違いは使用目的がご寄付を頂く時点で明示化されている、ご寄付をお願いするに至るストーリーが明確化している、という点だと思います。そういう意味で今回のプロジェクトは大学ではなく大学図書館が主体になって広くご寄付をお願いするものであり、この点は大学基金ではそもそも達成出来ないポイントではないかと考えています。(松野)

【質問4】

公共図書館でクラウドファンディングを行う場合、返礼品がふるさと納税と変わらない場合、どのようにしてふるさと納税との違いを説明し、さらに出資者の満足度も高めることができますか。

【答え4】

公共図書館がクラウドファンディングを行う場合、目的がふるさと納税とは明らかに異なることから、違いの説明は特に必要ないのではないかと思います。ただし、返礼品がまったく同じ物だと、違いがわかりにくくはなるかと思えますのでオリジナルグッズを作成するとか、図書館が提供できる特別なサービスをお考えになるとよいのではないのでしょうか。(長田)

【質問 5】

公共機関で上に理解して貰う為には、どの様な方法で行ったのでしょうか？(公共図書館がお金を集めることに対する対策等)

【答え 5】

発表の中にありましたので割愛いたします(赤山)

【質問 6】

大学図書館でクラウドファンディングを行う場合、大学側とのやり取りも発生するかと思いますが、どんな感じでしょうか。

【答え 6】

発表の中にありましたので、割愛いたします(赤山)

【質問 7】

単発的なものになりがちだと思いますが、継続的なものにする工夫等があればご教示ください。

【答え 7】

発表の中にありましたので、割愛いたします(赤山)

【質問 8】

公共図書館の例ではどのようなプロジェクトでいくくらい調達できたのですか？

【答え 8】

蔵書を増やしたいというプロジェクトが主です。詳しくはカレントアウェアネス CA1917 をご参照ください。

<http://current.ndl.go.jp/ca1917>

【質問 9】

クラウドファンディングをしている情報の伝達方法は？

【答え 9】

発表の中にありましたので、割愛いたします(赤山)

【質問 10】

クラウドファンディングをどのように立ち上げるか。してはいけないものはどんなものがあるか。

【答え 10】

「クラウドファンディングによる図書館の可能性」

立ち上げはクラウドファンディングのポータルサイトを活用します。してはいけないものというのはポータルサイトの基準や方針によって異なるかと思います(赤山)

【質問 11】

支援者の素性がわからなくて、不安にならないだろうか？ 例えば反社会的勢力を排除するのにどのような取り組みや方法があるのでしょうか？

【答え 11】

発表の中にありましたので、割愛いたします(赤山)

【質問 12】

- 利用者に何を還元すればいいのか悩ましい。職員の手間はできるだけかけたくない

【答え 12】

発表の中にありましたので、割愛いたします(赤山)

【質問 13】

雑誌スポンサー制度もクラウドファンディングの一種といえるのか？

【答え 13】

発表の中で取り上げました定義“インターネット上にアイデアを公開し、そのプロジェクトに賛同する不特定多数の人々から資金を集め、支援者には出資した金額に応じて”1)返礼品などを渡すもの、にしたがうと、雑誌スポンサー制度はインターネット上で募集していないものもありますので、違うものといえます。たくさんの人から寄付をしてもらうという意味では同じものといえます(赤山)

【質問 14】

自治体主体で行うに適しているのか？

【答え 14】

適している、ということ判断するための基準によると思います。予算の扱いや手続きの煩雑さを考えると適していないかもしれません。しかし、クラウドファンディングの成立例は、社会の認知されている課題や具体的な社会的弱者を前面に出した取り組みなど、わかりやすいテーマ設定や取り組みが多く、支援のされやすさを考えると適しているといえるかもしれません。今回は取り上げませんでしたが、ふるさと納税で図書館の運営資金を指定して寄付することができる自治体もあります(赤山)

【質問 15】

パワポを使うのであればその資料が欲しかったです。

【答え 15】

一部変更した上でウェブサイトに公開します(赤山)

【質問 16】

クラウドファンディングをしているという情報をどこで得るのか？

【答え 16】

発表の中にありましたので、割愛いたします(赤山)

【質問 17】

返礼品はどのようなものが良いですか？

【答え 17】

発表の中にありましたので、割愛いたします(赤山)

【質問 18】

準備期間はどれくらいですか？

【答え 18】

発表の中にありましたので、割愛いたします(赤山)

【質問 19】

クラウドファンディングは今後もやる可能性がありますか？

【答え 19】

学校図書館の分野だとなかなか難しいところもありますが、今後も機会があれば取り組んでみたいと個人的には思います。(今井)

お二人の発表をお聞きして私も刺激をもらいましたので、また別の機会にチャレンジしたいと思います。(長田)

今回のプロジェクトでは多くの方から支援を頂けた、という事実が我々にとって大きな励みになったと思っています。機会があればまた挑戦したいと個人的には考えています。(松野)

【質問 20】

学校図書館のクラウドファンディングで生徒が関わるものがあるか知りたいです。

【答え 20】

まだないのではと思います(赤山)

【質問 21】

どのようにして企画立案が持ち上がったのか。

【答え 21】

発表の中にありましたので、割愛いたします(赤山)

【質問 22】

質問ではないですが声が聞こえないです。マイクの声が大きくなってほしいです

【答え 22】

大変失礼いたしました(赤山)

【質問 23】

課題ライト、成功の秘訣があったら聞きたいです。

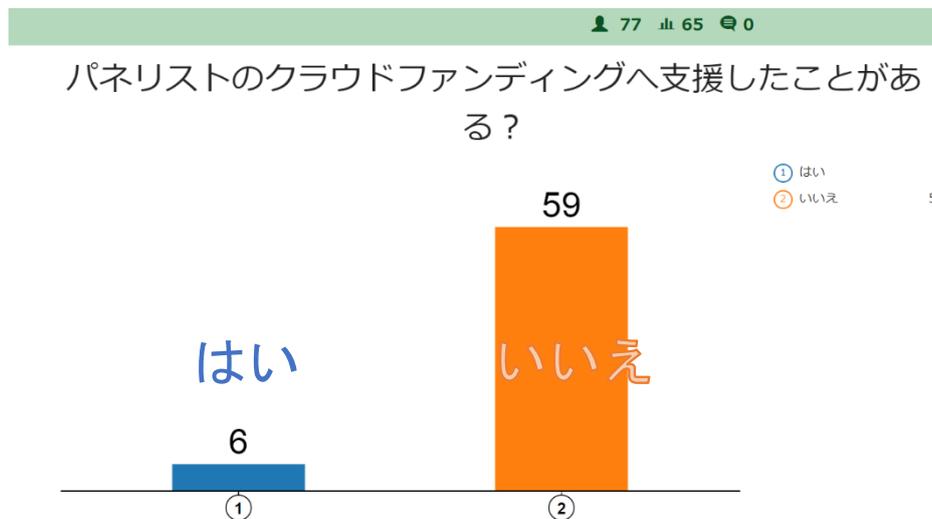
【答え 23】

フォーラム中にも申しあげましたが、仮に自分が支援するとしたらこれだったら支援できるという内容やプランをきちんと作れるかどうかにかかっていると思います。ここがしっかりしていれば広報もしやすいですし、いろいろな方の協力も得やすいと思います。その一方で他の補助金だったら難しいようなユニークなことも取り組めるのがクラウドファンディングだと思いますので、相談事があったらプラットフォームのサポートの方に遠慮なく聞いてみるのがよろしいかと思います。(今井)

「やりたいと思っているんだけど」というお声はたくさんお聞きします。まずは、とにかく実行に移そうとすることが一番のポイントでしょうか。取り組むと決めたら様々なハードルをクリアしながら進めるだけなのですが、そこでのポイントは「関係者への十分な説明」と「周囲の人を巻き込むこと」だと思います。クラウドファンディングを行う前の活動で図書館への理解を得ていることがそもそものポイントなのかもしれません。(長田)

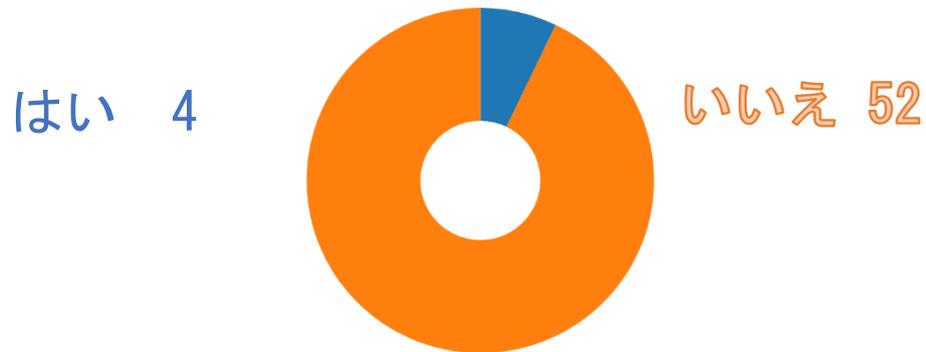
やはりプロジェクトを始めるにあたっての目的、ストーリーをどれだけ説得力をもって作り込めるかではないでしょうか。様々な図書館が財政的な問題を抱えているがゆえのご関心の高まりだとは思いますが、だからこそ漠然と「図書館」にご寄付を頂くのではなく「図書館のどんな取り組み」にご寄付を頂くのかを検討する必要があると思います。そういう意味では通常のご寄付のお願いとは異なる部分もあるので、事業者へのご相談やプロジェクト実施中の連携を密にする事は重要かと思います。(松野)

## ○アンケート結果



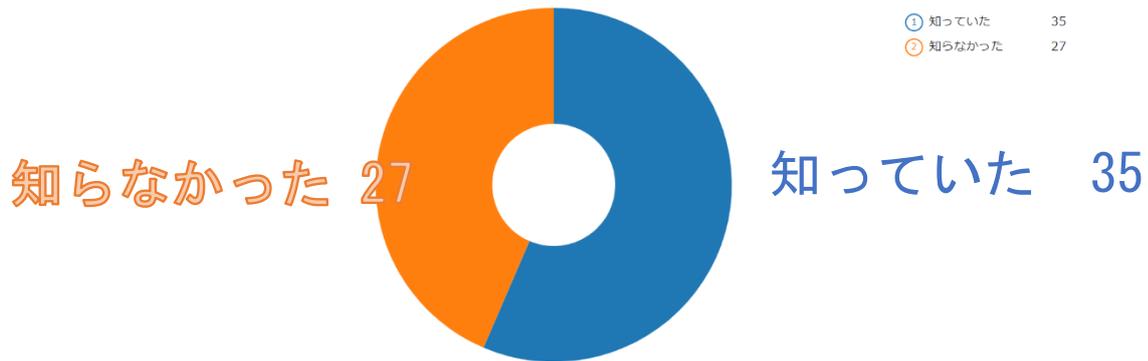
imakiku  
77 56

クラウドファンディングで図書館に支援したことある？



77 62 0

クラウドファンディングを使って資金調達した図書館があることは知っていた？



77 63

クラウドファンディングを使って支援したことがある？

